

## 公開質問書

1月26日、28日に行われた「成田空港線の鉄道事業の旅客運賃上限認定申請」にかかわる公聴会での貴殿の発言について公開の質問を致しますので、2月8日当方着をめぐり回答を求めます。

### 1】 成田空港線（以下 空港線）「収入・原価表」の設定乗客数

#### 1、社長発言 スカイライナーの一日あたり乗客数 それでは特急料金に不整合

一般公述人（以下 公述人）の多くが、成田空港線の運賃認可申請ではスカイライナーの乗客数が8642人になる。事業許可は17900人（10桁切り捨てのため正確には17970人）であり、今回の申請はその半分以下で収入を過小に見積もっているのではないかと指摘しました。

公述人の計算 特急料金収入 37.85 億円 ÷ 1200 円 ÷ 365 日 8642 人 / 日

貴殿は、この指摘にたいして、今回の申請では「スカイライナーの一日あたり乗客数を11124人とした」と回答とされました。添付された収入・原価表にある収入額の年間37.85億円（H23年度）で計算すると特急料金は930円になってしまいます。

$37.85 \text{ 億円} \div 11124 \text{ 人} \div 365 \text{ 日} = 932.2 \text{ 円} \quad 930 \text{ 円}$

しかし、申請した特急料金は1200円です。計算が合いませんので説明ください。

#### 2、社長発言 京成本線スカイライナーの乗客数 実際の3分の1？

公述人の指摘にたいして貴殿は、空港線のスカイライナー乗客数は、現在京成本線（以下 本線）で運行しているスカイライナーのうち、イブニングライナーとモーニングライナーの乗客を除く都心～成田空港間直行乗客数の一日あたり5837人に較べて約2倍であり過小ではないとしました。

ところが、本線で運行しているスカイライナー41本/日に対してイブニング・モーニングは合計8本で、乗降4駅を合計してもほぼ1000人/日程度の乗降客に過ぎないことは本社内でも周知のことではありませんか？ するとスカイライナーの乗客数は、貴殿が言う5837人に約1000人を加えた7000人弱/日にしかならず、貴社が発行している京成グループ要覧2009年版のH20年度実績10582人/日と合致しません。貴殿の発言根拠を具体的な計算内容でお示しください。

#### 3、社長発言 空港線一般特急の乗客数 上野行き旅客が消える

貴殿は今回申請のスカイライナー乗客数を11124人/日とします。これに今回申請

した高砂～空港間運賃950円と365日に乗じた運賃の額は38.57億円です。ところで、

収入・原価表の運賃収入総額は 72.75 億円ですから、差し引き 34.18 億円が北総区間通過客、北総線内乗降客を合わせた一般特急の収入額になるはずです。

しかし 34.18 億円では通過客がいなくなってしまうのではないでしょうか。貴殿は、現在は北総鉄道の収入になっている乗客が北総線区間で空港線一般特急に乗り換えたときは京成の収入になると発言されました。ではその運賃収入額はどれほどになるか。京成も参加して作成し H13 年に公表した調査報告書には、空港線一般特急に乗車することで北総鉄道の収入になる北総線内乗降客の割合は 36.6%とあり、千葉県はその総乗車距離を 337823 千キロメートル/日と文書で回答（H14/9/17）しています。北総線区間は 32.3 千キロメートルですが、北総線内で乗降する人の全員が全区間を乗ることなどありえません。そこで平均乗車距離として中間点の 16 千キロメートル強で計算すると  $337823 \div 16.15 =$  乗車人員数 20918 人/日とでます。中間点の西白井駅は高砂からも日本医大からも 630 円です。するとその運賃総計は

$$20918 \text{ 人} \times 630 \text{ 円} \times 365 \text{ 日} = 48.10 \text{ 億円}$$

となつて、貴殿の発言で計算すると出てくる一般特急の収入額 34.18 億円を大きく上回ることとなります。これでは空港線一般特急で北総区間を通過して空港や上野・日暮里へ行く乗客は一人もいないことになってしまいます。

空港線一般特急の北総線通過旅客で高砂～上野・押上へ行く乗客数、日本医大～空港へ行く乗客数、そして上野・日暮里から来て北総線内で乗降する乗客数、空港・成田湯川から来て北総線内で乗降する乗客数、空港～成田湯川間の乗客数、北総線内乗換え乗客数をお示してください。

#### 4、社長発言 都営交通も近距離激高、遠距離激安型 他に言う人はいない

貴殿は当初の 20 千キロメートル区間は 680 円、中間 12 千キロメートルを挟んだ後の 20 千キロメートル区間は 130 円という北総・空港線共有の偏頗な運賃体系を、極端なものではない『都営交通』もそうだと例示しました。都営交通の運賃体系が北総と同じと言う人は他にありませんが、貴殿が回答したのですから、具体的に都営交通の何線なのか、千キロメートル呈運賃表をつけてお答えください。

#### 5、社長発言 北総線の乗客が空港線電車に乗ったときは京成の収入

貴殿は、線路使用料の説明で「北総線から空港線一般特急に乗り代わる乗客の収入が資本費に相当する線路使用料の額を上回る場合は、上回る分も上乘せして支払う」と言われました。その一方で、「乗り代わる乗客数は分からないので一定額を配分する」という趣旨を述べておられます。つまり恣意的配分の恐れを生じるわけで、審議委員からもその指摘がありました。しかし貴殿の答えは独立した企業間だからありえないと言うだけで説明になっていません。乗客数の把握と配分について北総鉄道との間でどのような協定をしているのか。その結果が運賃収入にどのように反映しているのか明らかにしてください。

#### 6、社長発言 空港線一般特急の高砂～上野乗客数 一人もいないことになるが

貴殿は事業許可時のスカイライナー乗客数は 15920 人だったと言います。スカイライナーが空港～高砂～上野を走ることは言うまでもないことです。ところで国交省が

らは、事業許可の収入は空港線とは別な高砂～上野間の本線収入が入っているという説明を繰り返し受けてきました。そして国交省が昨年 12/17 に出した資料には既設線つまり本線の乗客数は 15600 人とあります。するとスカイライナーの乗客数よりも少ないですから、これだけでも一致しない不可思議が残るわけですが、それ以上に一般特急の乗客で高砂から上野・日暮里・押上へ行く人はいないと言う奇妙奇天烈なことになります。ご説明ください。

## 2】 社長発言 成田空港旅客の本線加算運賃 成田空港線は普段の運賃に切り替える

貴殿は、本線で課している特定運賃は既存の京成成田駅から成田空港駅に至る一部区間の新線投資を回収するため、当該区間を利用する乗客に負担を願うものだが、空港線の場合は空港から都心まで新線として機能し設備投資も全線にわたっているため「なじまない」ので課さないのだと言われました。

しかしこれは通じないことです。京成の常務取締役鉄道本部長までが参加して作成した H13 年の調査報告書も、京成自身が作成提出した H14 年の許可申請書のいずれでも空港線は空港から都心まで運行し、設備投資も全線にわたることが書いてあって特定運賃を設定しています。

貴殿は空港線の運賃は受益者負担の原則に立って空港旅客に負担を求めるとも発言していますが、本線利用の乗客には従来どおり特定運賃を課し続ける一方、空港線利用客には課さないという不合理、不公正、そして自身が作成した調査報告書と事業許可申請書にも矛盾する説明に固執し続けるのか、改めて見解をお示しください。

## 3】 社長発言 航空旅客需要の予測先行き落ち込む 実際は右肩上がり

貴殿は、「今回の空港線乗客見込み数の算定では成田空港会社の算定した最新の航空需要で見直しているが、事業許可時に見込んだ H22 年度の予測 3490 万人に対して、昨年の実績は 2940 万人で 16% も減と大幅に下回るものとなっている」と言われました。

その成田空港会社に確かめたところ、貴殿が言われた昨年の実績 2940 万人は 11 月までの統計で年間の実績は 3221 万人・7.7% 減でした。このような作為はよろしくありません。しかも一昨年と昨年の実績は世界恐慌を引き起こしたリーマンショックという特殊事情によるもので、このような数字を引き合いに出して将来予測のベースにすべきものでもありません。既に公述人が事実を示したとおり、昨年 8 月以来の回復は目覚しく 12 月などは前年比で 2 桁の伸びになっています。

さらにまた貴殿は、空港線の輸送人員数は航空需要に大きく左右されるが、今回の運賃認可申請では、事業許可時に見込んだ航空需要を大幅に下回ることになっている成田空港会社の最新情報に基づいていると説明されました。

ところが成田空港会社が H17 年に公表した中期 5 年計画の予測は 2 年後の H24 年度は 3500 万人と見込んでいて、H22 年度以降は未公表です。それだけではありません。社会資本整備重点計画の伸び率予測は H17 から H24 年までの平均で 3.6%。H19/6/21 に公表された国土審議会航空分科会の予測は H12 年から H24 年までで 1.6 倍以上となっています。従って、貴殿が運賃申請のベースにしたという航空需要予測は貴社だけの予断ではないのかが疑われます。航空需要予測の出典を明示されるように求めます。